

ECHIGO-  
TSUMARI  
ART FIELD 2025

THE ANSWER IS BLOWIN' IN THE WIND  
こたえは風に吹かわれている



2025.7.19sat - 11.9sun  
越後妻有里山現代美術館 MonET 回廊  
山本愛子、松本秋則、井原宏路、牛島達治  
ディレクション : BankART1929

# THE ANSWER IS BLOWIN' IN THE WIND こたえは風に吹かれている

場所 | 越後妻有里山現代美術館 MonET 回廊

会期 | 2025/7/19 (土) - 11/9 (日)

※祝日を除く火水定休 ※8/12 (火)、13 (水) は公開

時間 | 10:00-17:00 (最終入館16:30) ※ライトアップは21:00まで

料金 | 無料 (回廊のみ)

※山本愛子の作品の一部は美術館内に展示があります。展示期間: 7/19 (土) - 9/15 (月祝)  
美術館のご入館には、個別鑑賞券または「越後妻有 2025 夏秋」共通チケットが必要です。

## 参加作家



《山の雫》

### 山本愛子 / Yamamoto Aiko

美術家。1991年神奈川県生まれ、京都府在住。東京藝術大学大学院先端芸術表現科修了(2017)。ポーラ美術振興財団在外研修員として中国にて研修(2019)。アジアを中心とした国内外でのフィールドリサーチや滞在制作を通じて、自然環境と人間の関係性をテーマに、主に染色技術を用いて作品を制作している。主な展覧会に「忘れていくほど在る (それはまるで呼吸のような)」(gallery N / 愛知 2025)、「SENSE ISLAND/LAND 感覚の島と感覚の地 2024」(観音崎公園 / 神奈川 2024)、「BankART Under 35」(BankART KAIKO / 神奈川 2021) などがある。



《記憶子》

### 牛島達治 / Ushijima Tatsuji

1958年東京都生まれ。1984年頃、拾った石のためのプレーヤーの制作を思い立って以来「無用な機械」と呼ぶ作品群から表現活動を始めた。やがて、様々な出会いの中で手のひらの中の出来事から建築的なスケールでの思考へと領域を拡張されながら、メカニカルな仕組みや時間軸にともなう変化、自然科学や終わりのないとなみを興味の対象として制作してきた。2009年より人力移動式工房の制作と活動が始まった。これは街と人との関わりが興味の対象に加わってきたことによる。2025年現在、制作と街と人との関わりを大切に工房の運営を若い二人の友人とはじめた。また、横浜港湾部にある土木遺産を舞台に大規模なプロジェクトを計画し始めた。

## 問い合わせ

越後妻有里山現代美術館  
MonET  
新潟県十日町市本町  
6の1丁目71-2  
越後妻有交流館内  
TEL: 025-761-7766  
www.echigo-tsumari.jp



《SUNARI-project-in-BALI》

### 松本秋則 / Matsumoto Akinori

1951年生まれ。1978年より創作活動を始め、現代日本美術展、日本国際美術展、ヘンリー・ムーア大賞展など数多く出品する。1992年五島記念文化財団の助成で、1年半アジア7ヶ国少数民族の芸能を研究。1999年第9回バン格拉デシュ・アジア・アートビエンナーレでグランプリを受賞。1981年よりサウンド・オブジェ(音の出る作品)を創作してギャラリー、美術館、野外など様々な場所で自動演奏によるサウンド・インスタレーションを展示する。現在はサウンド・オブジェを利用して、音楽、美術、映像を融合した「アキノリウム」と並行して妻とのコラボレーション「惑星トリス」を展開中。



《cycling - dead or deer-》

### 井原宏蒨 / Ihara Koro

1988年大阪府生まれ。2011年多摩美術大学美術学部彫刻学科卒業。2013年東京藝術大学大学院美術研究科彫刻専攻修了。生物が生きていることで生み出した副産物や生物の習性などに着目し、それらを生物が作った彫刻として自立させる作品を制作している。動物の糞を漆で固め、排泄物の身体に戻す作品や、ペットフードや羊毛などで動物を形成し、焼失し鑄造する作品、鳥の巣を自然がつくったかたちのまま器にするプロジェクトなど、自然が生み出した造形を作品に取り入れている。見向きもされない生物や彼らの生きた痕跡に敢えて目を向けることで生態系とその循環について見つめなおす。

## 「越後妻有 2025 夏秋」共通チケット

「越後妻有 2025 夏秋」の会期中(2025/7/19-11/9)に公開される作品を鑑賞できるチケット。  
2回目は共通チケットの提示で個別鑑賞券の半額で入館できます。  
料金: 一般2,500円  
小中学生1,000円  
未就学児無料



芸術祭 HP



English

原広司設計の MonET の回廊は、越後妻有という圧倒的な自然の中に建ち、「池」という自然の象徴を建築が囲い込む構造となっています。本展では、その池(水)を中心に「風」を感じるさまざまな作品を配し、建築そのものを含めた、オーケストラのように響き合う一体的な空間をつくり出します。

松本秋則のサウンドオブジェは涼やかな音を建物全体に響かせ、牛島達治の作品群が風に誘われくるりと自転します。山本愛子は気流にながれる布にやがて草木の色をまとうせ、井原宏蒨の動物や生物の循環を現す彫刻たちは風を切って進んでいきます。

風は、時間や変化、気配、記憶、感情、そして未だ見ぬ未来といった、目に見えないものと私たちを接続します。この空間に身を委ね、さまざまな「風」に触れるひとときをお過ごしください。

## イベント・ワークショップ

○「オープニングギャラリートークツアー」

7/19(土) 14:00 MonET 回廊 / 無料

参加作家による作品解説ツアー

○山本愛子

「NATURE COLOR PICNIC in 妻有 / 植物採集の会」

8/10(日) 13:00-15:00 / BankART 妻有 桐山の家 /

500円(お茶菓子付き) / 15名(小学生以上)

自然の中を歩き染料になる植物を探して採集する / 染料のお茶テイスト。持ち物: 汚れて良い服と靴、手を拭くタオル

○山本愛子

「NATURE COLOR PICNIC in 妻有 / 草木染の会」

8/11(月) ①10:00-12:00 ②14:00-16:00

MonET 回廊 / 1,000円 / 各回15名(小学生以上)

越後妻有で採集した植物で草木染め体験

持ち物: 当日染めたい布(1人あたり200g程度 / 素材は綿、麻、絹に限る)、汚れて良い服と靴、手を拭くタオル

○山本愛子「声を紡ぐ日 - 滞在制作報告会」

8/30(土) 13:00-14:30 / MonET / 無料 / 20名

山本愛子の滞在報告会 / MonET 展示作品鑑賞 / 雑談会

持ち物: 特になし

○松本秋則「竹音琴(ちくおんきん)を作ろう」

10/11(土)、12(日) 13:00-15:00 / MonET / 2,000円

各回15組(小学生以下は親子同伴、大人は1人でも可能)

イベント・ワークショップの申込はこちら

<https://et2024.peatix.com/events>



## BankART1929

2004年から21年間、横浜市の「創造都市構想」のもと、歴史的建造物や遊休空間を公設民営の芸術文化施設として活用し、アート、建築、デザイン、パフォーマンスなど幅広い分野を横断しながら活動。2025年4月からは、これまで培った様々な関係性と「都市の経験」をもとに、多様な人々と協働することで社会とアートの新たな地平を切り開いていく。越後妻有では、2006年に「BankART 妻有 桐山の家」をオープン。築100年の農家を建築家のみかんぐみや美術作家たちとともにリノベーションし、以降の芸術祭に毎回参加。前回展では「創造的修復と交信」をテーマに家を開放し、人々を迎え入れた。

主催: 大地の芸術祭実行委員会、NPO 法人越後妻有里山協働機構、独立行政法人日本芸術文化振興会、文化庁  
委託: 令和7年度日本博2.0事業(委託型) Japan Cultural Expo 2.0



日本博 HP